

平成 19 年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 小会議室
開催日時	平成 20 年 8 月 24 日午後 2 時
会員総数	29 名
出席会員数	25 名
内訳	本人出席 10 名 委任状提出 15 名

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

1. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

平成 19 年度事業報告

1. グリーンスポーツ鳥取の運営、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールドの芝生の状態は昨年どおり良い状態が保っている。
- ② 湖山エレンシアホッケークラブは、GST の規定どおりの練習内容で、活動開始した。
- ③ 地元住民によるグリーンフィールドの利用、住民主導のイベント利用は年々増えてきている。
- ④ 鳥取市児童家庭課・都市計画課・鳥取県体育協会より依頼があり保育園・街区公園・小学校の芝生化指導を開始した。初めて技術指導料として収益が見込めるようになった。
- ⑤ 日本サッカー協会実施の「グリーンプロジェクト」の技術指導を頼まれて、承諾した。
- ⑥ マスコミからの注目が高まり、県外からの視察が 19 年度に 23 回、県外講演が 16 回あった。

2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

現在湖山K R F C・E A S Eフットボールクラブ・エレンシアホッケークラブがグリーンフィールドで練習をしている。維持管理費は昨年より減少してきている。

芝生化事業としては

- ① 鳥取県体育協会「校庭芝生緑化支援事業」として、鳥取県内の保育園・小学校を 7 箇所の芝生化を行った。
- ② 鳥取市児童家庭課「保育園芝生化事業」として、鳥取市のぞみ保育園・鳥取市湖山保育園の 2 箇所はスプリンクラーを設置して芝生化を行った。

- ③ 鳥取市都市整備部「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」においては、深沢公園・湖山公園・北園2号公園等、市内計5箇所での芝生化を行った。これは地元住民の協力で芝生化し、鳥取市が管理するものである。
- ④ 日本サッカー協会が本年度から実施する「JFAグリーンプロジェクト」に対して技術指導を行い、全国（茨城～長崎）計29箇所、小・中学校の校庭芝生化を支援している。
- ⑤ その他の個別事業として、全国のNPO等の協力もあり、京都府立乙訓高等学校・松下電器HA（草津グラウンド）・津幡町運動公園多目的競技場等54箇所、合計104箇所を行った。

3. EASEフットボールクラブ

神近理事より以下の報告があった。

今年中学生の枠をつくった。ジュニアに比べて一般はあまり良い結果を残せなかったため、今後は頑張りたい。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

スミス理事長より、以下の報告があった。

出雲で行われたラグビーフェスティバルに鳥取県のメンバーとして湖山ラグビークラブのスクール生4名参加した。高学年の部では優勝した。鳥取県タグラグビー大会で4-6年生の参加資格選手不足のためオープン参加となり、記録上は優勝にはならなかったものの、3勝1引き分けの参加チームトップの成績だった。

5. 自治会との連携

岩井理事より、以下の報告があった。

自治会としてはグリーンフィールドの維持管理及びGSTの運営に対して深く理解しており、これからも支援・サポートして行く。

6. 決算報告

新理事より、平成19年度の決算報告があった。

本年度からグリーンフィールド関連の非営利活動事業と芝生化支援の収益事業に分けて決算書を作成しており、非営利部門は若干の赤字となり、収益事業に関しては40万円程の黒字となった。

7. 会計監査報告

法人監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

8. 質疑応答・承認

会員より「これから事業が拡大するにつれて、未収金とか増えていかないのですか？」という質問があった。

スミス理事長より、「仕事を請け負うときに、作業終了後即請求書を送り、その月の月末に支払いを済ませてくれることを条件にしているので、未収金の増加の心配はない」との回答があった。

以下質問及び異議がなく、19年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

9. 理事の異動

スミス理事長より前理事の山根順孝氏の健康状態が思わしくなく、代わって湖山西地区自治会の役員を務めている岩井正興が就任した旨の報告があった。

平成20年度事業計画

1. 20年度の事業計画

グリーンフィールドが GST の活動の拠点であり、スポーツクラブ及び地元住民の利用が順調に伸びると見込んでいる。

鳥取方式がますます知名度が上がり、多方面からの依頼が多く、現在は JFA のアドバイザー契約及び大規模な事業二つを交渉している。

今年の7月には日本海テレビ制作のドキュメンタリー番組が全国放送され、10月にはテレビ朝日制作の特集が報道ステーションで放送されるなど、マスコミの関心も高まっている。

現在進行中の鳥取市児童家庭課・都市計画課・鳥取県体育の保育園・街区公園・小学校の芝生化事業のさらなる拡大を期待している。

事業の規模拡大に伴い要求される事務仕事が増えて、事務体制の強化のため20年7月からパートタイム事務員を採用した。

2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

グリーンフィールドの状態が現在の利用に対して全く問題はなく、利用増加を期待したい。

芝生化事業としては

- ① 鳥取県体育協会、鳥取市児童家庭課及び鳥取市都市整備部の芝生化事業の拡大が期待され、それに対する支援を続ける予定。
- ② 日本サッカー協会の「芝生化の技術指導」も一段とレベルアップが要求され、それに対応出来るための体制作りをして行く。

3. EASEフットボールクラブ

今年度から県協会の中学生チームが参加するホームアウェイ方式の大会にEASEのクルセールが参加し、グリーンフィールドが正式競技場として使用されることになった。その他、全チームの会員増加及び強化に向けて頑張りたい。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

会員増加が急務であり、次のシーズンに向けて試合日程を組み始めている。ジュニア一部に関しても会員募集し、県大会の3連覇を目標に10月から練習を開始する。

5. 自治会との連携

今まで通りの支援・サポートを継続して行う予定。

壮年団では納涼祭等のイベントで使用する資材を収納するコンテナを鉄道よりの駐車場に設置した。

6. 20年度の予算案

決算同様に平成20年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。交渉中の日本サッカー協会との契約及び2大事業が盛り込まれており、また、7月から事務員の給料も計上されている。

7. 質疑応答・承認

会員より「予算に計上されている保険料増加の理由を教えてください」との要望があり、スミス理事長より「松下電器グラウンド芝生化のような事業を請け負えば、下請け業者の作業員に対する労働保険が必要とされるから」との説明が会った。

予算・事業案に対する質問がなかった為、20年度予算案が、満場一致により承認された。

8. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後2時45分に閉会を宣した。

1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

1. 閉会の挨拶

スミス理事長より当法人の組織力を考慮すれば、当法人の基本理念に対し理解・認識の乏しい団体へは芝生化を進めると不合理が生じるので、そういう相手との関わりを割愛して行きたいと考えている。したがって、これらの基本理念に基づき、現在は鳥取県と市の両教育委員会との芝生化事業を進めていない旨の説明があった。また、市の保育園芝生化に対する方向転換から考えると改善が期待出来る旨の話があり、総会を閉会した。

平成20年8月24日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長	谷 尾 洋 介	印
会員	ニール スミス	印
会員	中 野 淳 一	印